



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 3192 番

90.4.3

No.

## 正当なストライキへの不当処分策動を許すな

# 4・8 千葉労働 総決起集会 千葉公園へ

—午後1時—

北海道新聞

1990年(平成2年)3月23日(金曜日)

国鉄清算事業団

## 「分割・民営は間違い」

### 川合さん自殺で旭川の支所

### 助役、追及受け涙の謝罪

【旭川】「国鉄の分割・民営化と清算事業団の設置は間違っていた」。元国鉄労働部の川合浩司さん(58)の死で揺れる旭川で二十一日、国鉄清算事業団支所筆頭助役の一人がこう語り、事業団幹部の前で涙々と頭を下げた。

この日の朝礼後、四支所が疎くなく、川合さんの死の支所が二十日の解雇予告の取り扱いを巡って事業団側を追及、延々とやりとり

支所長が「立場上答えられない」としたため、筆頭の助役が答えた。同助役は「間違え発言」に就き「清算事業団という

ものがなかったら、こういう不幸な事態は生まれなかつた」と述べ、「自殺されたら」の言葉を話された。この際、委員長が「他の助役も同じ気持ちか」と問

役五人も立ち上がり、一掃に頭を下げた。支所長は座ったままだった。激しい口調で事業団を批判していた国鉄の組合員たち二十数人は、助役のこの発言ばかりはじつと聞き入り、こぶしを握りしめてしばらく沈黙。なかには涙を流す組合員もいた。ある組合員は「川合君に聞かせてやりたかった」と悔しがっていた。

仲間たちの無念・悔しさに沁みわたる

三月三十一日、政府・清算事業団当局は、三井・三池炭坑の首切り(一九六〇)以来の非道な大量解雇を強行した。われわれは、この暴挙を断じて許さない！  
一・二名の仲間をはじめ全国一五〇〇名の事業団の仲間の新たな決意に込め、トコトン闘いぬこうではないか！  
清算事業団当局・JR当局は、地労委命令さえ踏みじり大量首切りを強行し、加えて我が勤労千葉の一〇〇%正当な一八ストからの八四時間ストに対し、懲戒免職を含めた不当処分を画策している。全組合員は、三月決戦をやり抜いた力を数

倍・数十倍にして、今すぐ激しい弾劾にたちあがらなければならぬ！  
JR当局とJR総連は、三月一九―二〇日に予定されていたストライキに對し、スト前日(一八日)の朝から庁舎の門を閉じ、組合役員の出立入りを職場への立ち入りを実力で阻止し、泊乗務員に對してスト突入以前にもかかわらず、追い出すという前代未聞の違法行為を繰り返した。  
われわれは、正当な争議行為に對する不法な支配介入に對し、ストの防衛をかけてやむにやまれず、かねてから”通告”していた通り、戦術の拡大をもってストに突入し

た。ところが彼らは、自らの不当労働行為をタナにあげ、勤労千葉に責任を押し付け重処分を加えようとしているのである。どうしてこのような暴挙がゆるせらるるか！  
全組合員は、この間、スト・諸行動と連続的な決起の中ではあるが、敵から加えられている理不尽極まりない不当処分策動粉砕のために、四、八緊急行動には全組合員がこぞって結集されるよう、心から強く訴える次第です。  
午後一時、千葉公園へ！

# 総決起集会!